

マーブリングで水調べ

～びわ湖や身近な川の水の様子を目で確かめよう～

航海の特徴

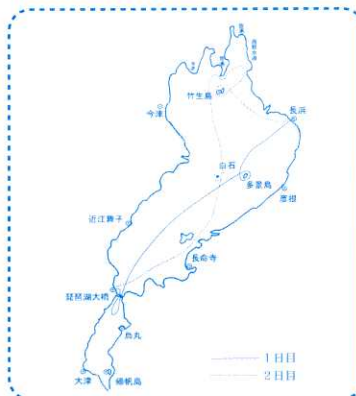
マーブリングを用いた水調べに視点をあてた環境学習

身近な川が琵琶湖につながっていることを意識して、水を汚さない工夫を生活の中で積極的に実践している児童は多くないと予想される。

本航海では、「びわ湖環境学習」の「『湖の子』水調べ」の活動を通して、同じ琵琶湖の水でも、場所によって水の透き通りくあいや色、においなどが異なることに気づかせたいと考える。また、事前学習では身近な水を、「うみのこ」では琵琶湖の水を調べることにより、自分たちの生活と琵琶湖の水とのつながりについて考えさせたい。

水質の違いをわかりやすくするために、今回は、「『湖の子』水調べ」の他に「マーブリング」の手法を取り入れる。水の表面張力を利用したこの方法は、結果が目に見えるため、児童の学習意欲が高まると考える。

(1) 航海の航路・日程



<1日目>

- 10:00 琵琶湖大橋港発
出港見学、開校式
- 12:30 多景島展望
- 13:30 長浜港着
- 14:00 寄港地での活動
(長浜タウンウォーク)
- 19:00 「湖の子」の夕べ

<2日目>

- 6:00 起床
- 7:00 朝のつどい
- 8:00 長浜港発
- 9:00 竹生島港着
- 10:00 竹生島港発
- 10:10 びわ湖環境学習
- 12:20 白石展望
- 13:10 沖島展望
- 13:30 「湖の子」掃除、閉校式
- 14:30 琵琶湖大橋港着、下船

(2) 展開事例

① 学習活動のねらい

マーブリングの手法を使って身近な川やびわ湖の水を調べたり、環境について話し合ったりすることにより、ふるさとの水や自然環境を大切にしようとする気持ちを育てる。

※マーブリングは、油性の絵の具を水面に落とし、水の表面張力を利用して、水面に模様を広げる技法であるが、水に油や洗剤などの不純物が混っていると絵の具はひろがらず、すぐに沈んでしまう。絵の具のひろがり方で水に不純物が含まれているかどうかを調べることができる。

